

日光白根山の火山活動解説資料（平成 25 年 12 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

うたがはま
歌ヶ浜（日光白根山の南東約 13 km）に設置にしてある遠望カメラによる観測では、山頂部に噴気は認められませんでした。

・地震活動（図 2－①、図 3）

日光白根山付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
2013 年 2 月 25 日に栃木県北部（日光白根山の山頂から北北東へ約 10 km 付近）で発生したマグニチュード（M）6.3 の地震による余震活動は、低下しながらも継続しています。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 2－②③④）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図 1 日光白根山 山頂部の状況
(12 月 17 日 うたがはま 歌ヶ浜遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 1 月分）は平成 26 年 2 月 10 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、東北大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

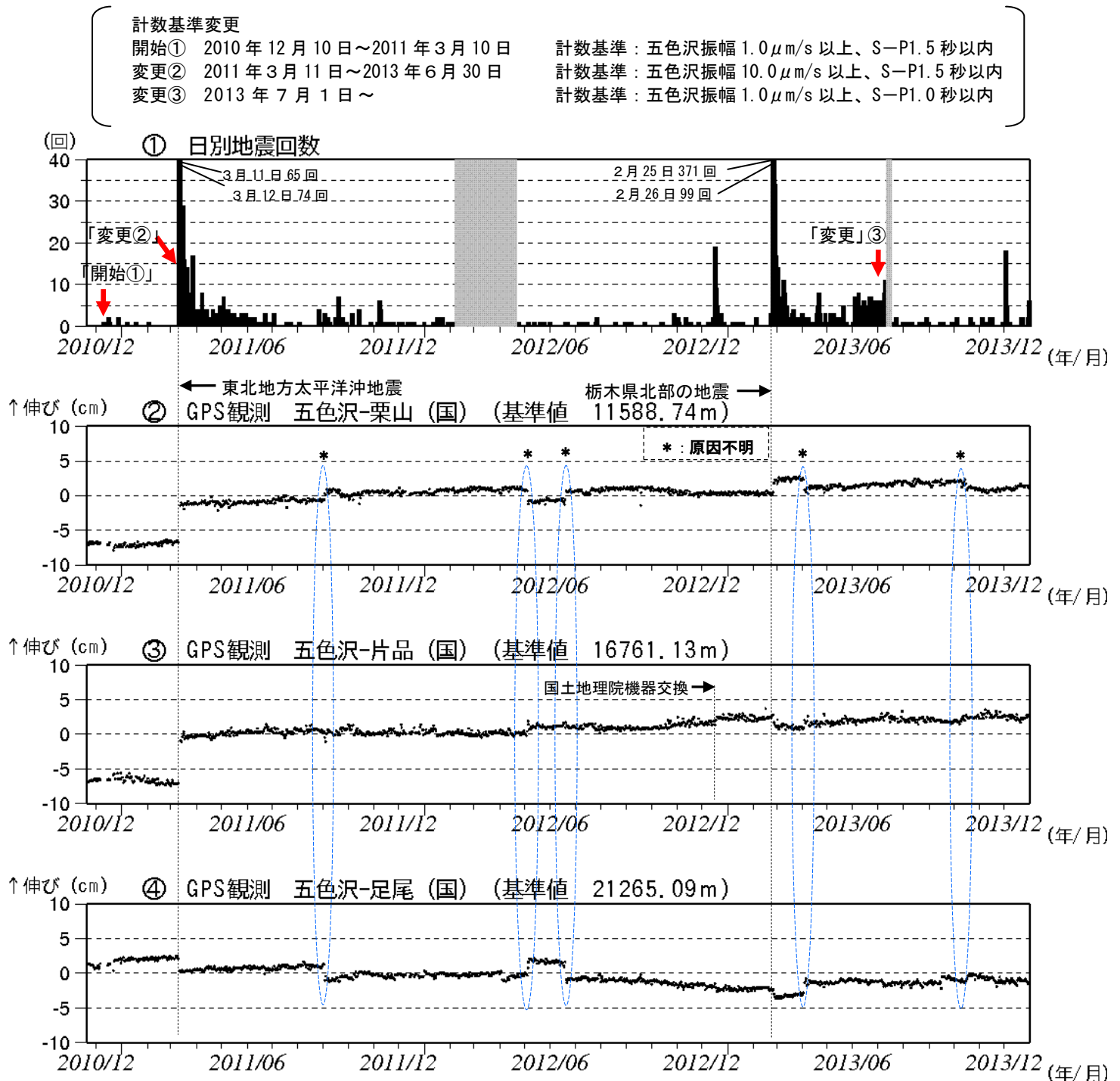


図2 日光白根山 火山活動経過図 (2010 年 11 月 20 日～2013 年 12 月 31 日)

①日光白根山周辺の日別地震回数

- ・2010 年 12 月 10 日観測開始
- ・2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震以降、日光白根山の周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後、地震活動は低下しました。
- ・2013 年 2 月 25 日に発生した栃木県北部の地震による余震活動は、今期間、低下しながらも継続しています。
- ・グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示します。

②～④ GPS 連続観測による基線長変化 (国)：国土地理院

- ・五色沢観測点の運用開始日：2010 年 11 月 20 日
- ・2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
- ・青い破線で示したデータの飛びの原因は不明です。
- ・2013 年 2 月 25 日に発生した栃木県北部の地震の影響により、データに飛びがみられます。
- ・グラフの空白部分は欠測を示します。
- ・②～④ は図 4 の②～④に対応しています。

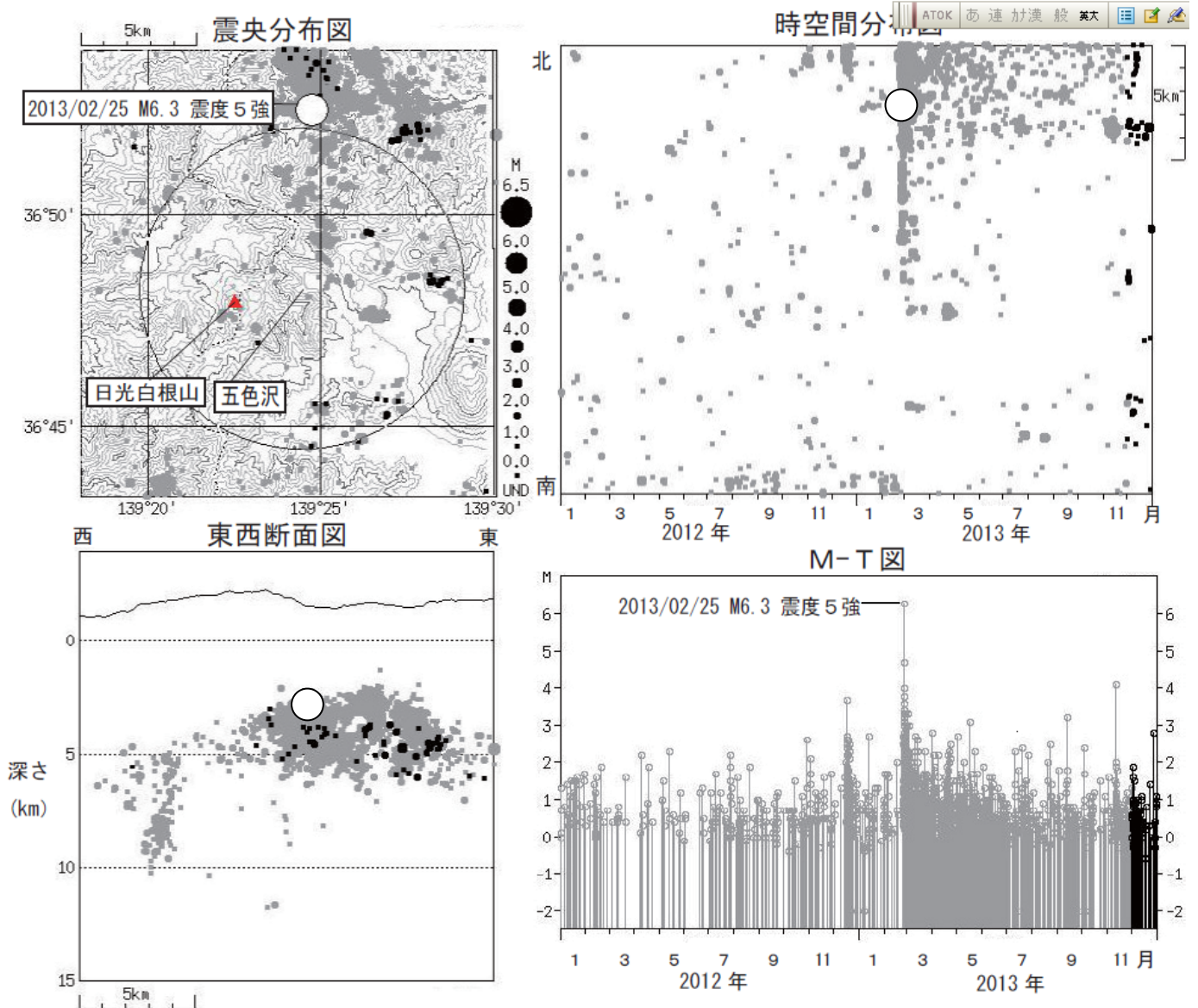
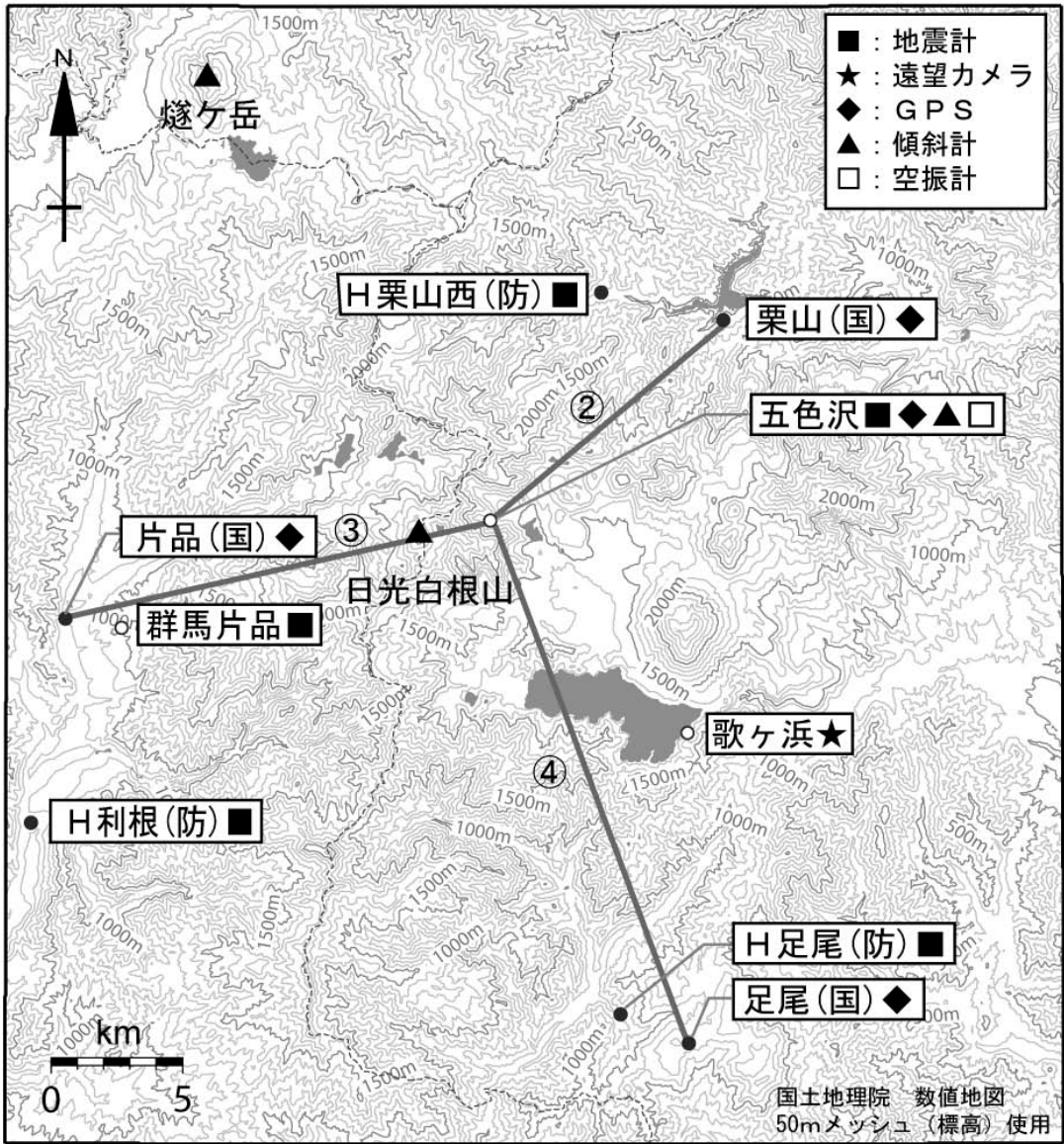


図3 日光白根山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2012年1月31日～2013年12月31日)

●：2012年1月1日～2013年11月30日

●：2013年12月1日～2013年12月31日

- ・2013年2月25日に発生した栃木県北部の地震（M6.3：図中白抜きのシンボル）による余震活動は、今期間、低下しながらも継続しています。
- ・震央分布図中の円は図2-①の計数対象地震（五色沢でS-P時間1秒以内）のおよその範囲を示します。
- ・M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
- ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・日光白根山付近を震源とする地震の発生は少なく、地震活動は静穏に経過しました。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（防）：防災科学技術研究所

図 4 日光白根山 観測点配置
GPS 基線②～④は図 2 の②～④に対応しています。